



TOYO ELECTRIC CORPORATION

第86期報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

トップインタビュー

社会が求める技術、
課題解決につながる技術を
英知を集めてカタチにします。

1

クローズアップ	4
セグメント別概況	5
連結決算概要	7
社員インタビュー	9
会社概要／株式状況	10



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード：6655

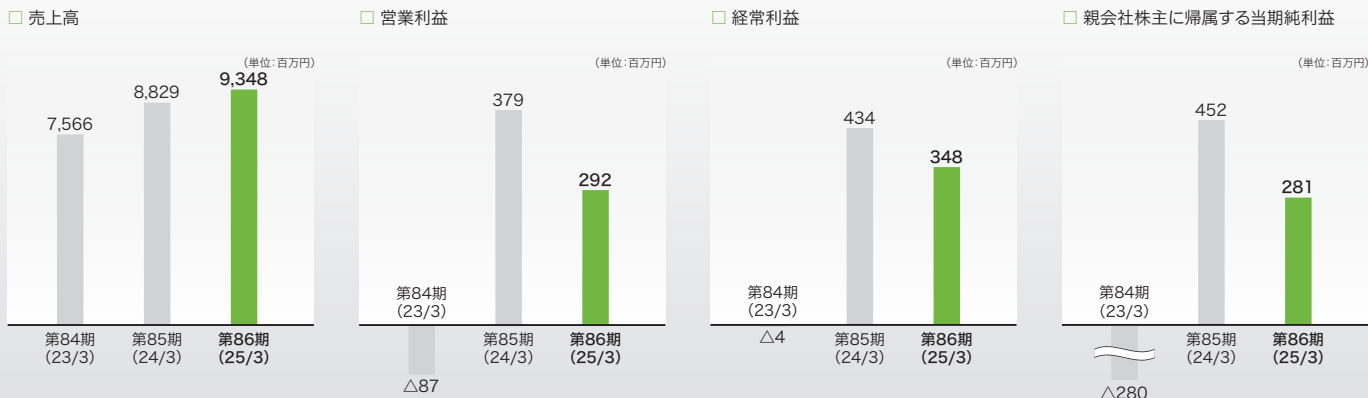


社会が求める技術、 課題解決につながる技術を 英知を集めて カタチにします。

株主の皆様には日頃のご支援に心より感謝申し上げます。
東洋電機は本年9月に創業80周年を迎えます。
次の90年、その後の100年を迎えられるよう、
持続可能な成長を実現できる基盤づくりに
一層努めていかなければと決意を新たにしています。
そのためにはこれまでの常識の枠や仕事の分野にとらわれない、
果敢な挑戦が求められています。
株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 松尾 昇光

連結決算ハイライト



Q1

東洋電機を取り巻くこの1年の経営環境を振り返っていただけますか。

当社グループの関連業界である電気機器業界では、カーボンニュートラルの実現や省力化などの社会課題の解決を目的とした設備投資がこの1年も堅調に推移しました。当社グループにおいては、DXや生成AIへの期待からデータセンター関連が好調を維持し、太陽光発電設備関連の需要も着実な伸びが続いています。

この数年は原材料価格やエネルギーコストの高止まりから、原価率の改善が急務となっていました。この1年は、販売価格および運送費の改定でお客様の理解が得られたものの、従業員の労務費等の改善に伴う原価の上昇分については道半ばとなっています。

当期は売上げを伸ばしたものの、固定費の増加等により利益面では減益となりました。

Q2

事業部門の最新の動きについても聞かせください。

国内制御装置関連事業においては、エンジニアリング部門が、当期は搬送制御装置分野、監視制御装置分野、配電盤の分野で大型案件が動き、3割を超える売上げの伸びとなりました。機器

部門は、主力のエレベータセンサ分野における価格競争の激化と市場ニーズの変化により減少が続いています。変圧器部門は、データセンター向けや再生可能エネルギー関連の設備投資が堅調に推移したことにより、好調を維持しています。

昨年8月にグループ入りしたアドヴァンコーティング(株)は、当社製品の塗装に加え、環境への配慮から普及が期待される粉体塗装を提案しています。グループの競争力の強化につながるものと期待されています。

中国とタイの子会社2社からなる海外制御装置関連事業は、中国経済の停滞により南京華洋電気有限公司が低迷を余儀なくされています。タイ経済も活気が見られません。アジア市場の展開については再構築が迫られています。

東洋樹脂(株)による樹脂関連事業は、当期は事務機器関連向け製品の受注で好調を維持しています。

Q3

東洋電機は創業80周年を迎えます。あらためて今後に向けた抱負をお聞かせください。

東洋電機は戦後まもない1945年に創業し、本年9月に創業80周年を迎えます。これまでの80年を振り返ると、決して平坦な道ばかりではありませんでしたが、大勢の先人たちの努力や導きも

あり、今日を迎えることができました。

先日行われた従業員一同が集まった記念式典では、あらためて私の決意を伝えました。当社が90周年、そして100周年を迎えるためには、これまでの仕事を惰性で続けるのではなく、もう一度外部のお客様とそのニーズの変化に目を向け、一人ひとりが仕事に向き合っていかなければならないとお願いしました。

80周年を迎えるにあたり、当社では新製品開発の迅速化と事業部間連携の強化や業務の効率化を図ることを目的として、かなり大掛かりな組織変更を行いました。一番の変更点は、かつて当社をけん引してきた機器事業部を再編し、過去に縛られない新しい発想で事業のあり方を見直したことです。

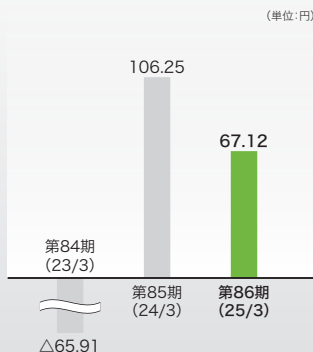
また、役員や幹部の登用についても可能な限り若手を登用しました。今後は市場の変化をウォッチするとともに、これまで以上に開発と試作にも力を入れ、魅力ある製品で魅力ある東洋電機グループの実現を目指します。

Q4

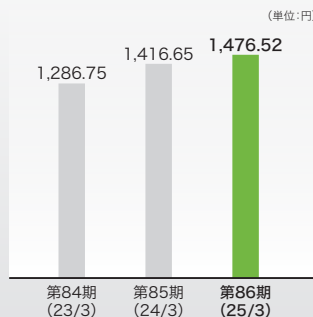
株主様への配当や株主優待についても新しい試みがあるようですね。

株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するため、2025年3月期の期末配当において、1株

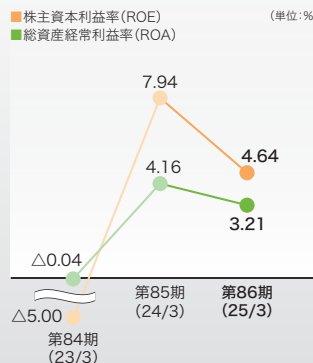
□ 1株当たり当期純利益



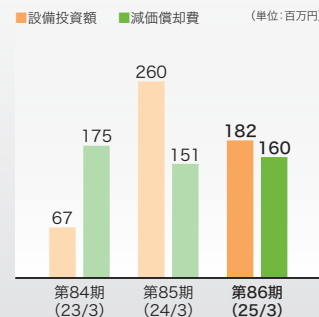
□ 1株当たり純資産額 (BPS)



□ 株主資本利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)



□ 設備投資額/減価償却費



当たり2円の記念配当を実施することとしました。これにより、2025年3月期の1株当たりの期末配当金は、普通配当10円に、記念配当2円を加えて12円となる予定です。1株当たりの年間配当金額は、中間配当の10円と合わせると22円となります。

また、当社株式を中長期で保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を魅力あるものとすべく見直しを行いました。これまでは株主優待でお送りするクオカードの金額は一律でしたが、今後は株主様の保有株数と保有期間に応じて、さらに優遇することとしました。

詳しくは当社ホームページのIRニュース2024年11月12日付の「株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

Q5

全社をあげた新製品・新サービスのアイデア募集もスタートしています。外部に目を向けた魅力ある製品・サービスが期待されますね。

昨年12月にエンジニアリング事業部の呼びかけで、社内横断で新製品・新サービスのアイデア募集を始めました。この4月からは社内の応募サイトにログインすれば簡単にアイデアを投稿できるようにしました。すでに20件ほどのアイデアが寄せられています。これらの動きが定着すれば、社内のだれもが社会の変化とニーズに目を向ける社風づくりにつながると期待しています。優れたアイデアについては表彰制度も設けています。

これまでは従業員が自由にアイデアを出せる場がありませんでした。アイデアを全社で共有できれば、そこからさらに新しいアイデアが生まれる可能性もあります。

コロナ禍を経たこの数年、当社は「製品情報」のほか、「イベント情報」「展示会情報」を外部に向けて発信してきました。

本年5月末にはインテックス大阪において「JECA FAIR 2025 第73回電設工業展」に出展しました。ここでは①通信機能を搭載し、集中監視・制御で、安全性・メンテナンス性を向上した「コントロールセンタ」、②開発中のテープ式セン



サで特殊な形状へも柔軟に対応可能な「漏液検知センサシステム」、③微弱な光で発電するセンサで、CO₂や温湿度データを常時モニタリングする「環境センサ/CO₂センサシステム」、④当社の塗装コーティング技術をご紹介「塗装事業」、⑤従来機を凌駕した次世代オールインワン型の「新型サイリスタ式温度制御ユニット交流電力調整器」などを展示しました。

5月末には塗装レスの鋼板を使ったコントロールセンタを投入しました。塗料には人体に有害な有機溶剤が使われているほか、乾燥のために大量のエネルギーも使われています。そうした環境や人体への影響を少なくするためにも、この新しい製品化に期待しています。

Q6

新しい年度がスタートしました。今期の見通しとともに株主の皆様へメッセージをいただければ……。

今期は第二次中期3年経営計画の2年目にあたります。経営ビジョンをしっかりと持って、省人化・

省力化に向けたDXソリューションなどのニーズを取り込み、お客様に積極的に提案し、受注活動に努めます。業績見通しでは、売上高9,250百万円(前期比1.0%減)、営業利益321百万円(同10.0%増)、経常利益338百万円(同2.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益235百万円(同16.6%減)を予定しています。

なお、当社はこの度、従業員持株会向けインセンティブ制度を導入しました。東洋電機従業員持株会の会員資格を持つ従業員のうち、本スキームに同意する従業員の財産形成の一助とすることに加えて、創業80周年を迎えた従業員が当社株式を所有することにより経営参画意識を高めるとともに、株主の皆様との価値共有を進めることを目的としています。

これからも経営と従業員が連携を強め、株式価値の向上に一層努めたいと決意を新たにしているところです。株主の皆様のご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

CLOSE UP

クローズ
アップ

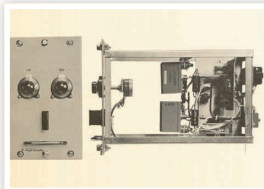
東洋電機 創業80周年の歩み

東洋電機は、おかげさまで本年9月に創業80周年を迎えます。創業以来、時代の変化に適切に対応しながら、FA業界向け制御機器メーカーとして、これまで蓄積してきた総合エレクトロニクス技術を活用し、常に新しい技術・製品・システム・サービスを提供してまいりました。

今後も、独自の視点で世の中に貢献することを追求し、当社らしい製品・サービスを提供し続けることで、持続的な成長を目指してまいります。



電気マッチ



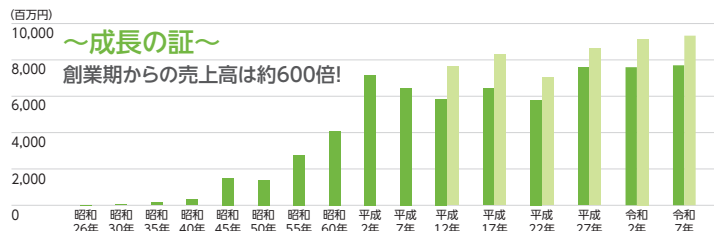
- 昭和20年 9月 創業者松尾昇三氏により創業、電気マッチ・電熱機器製作販売を開始
- 昭和22年 7月 兵庫県尼崎市に配電用柱上変圧器の修理を主業として(株)東洋電機工作所を設立
- 昭和24年12月 工場を名古屋市西区に建築し、配電盤・制御盤・変圧器の製作・販売を新規に開始
- 昭和35年10月 生産増強のため、愛知県春日井市に春日井工場を建設し、配電盤・制御盤・変圧器の生産拠点を移転
- 昭和38年 7月 初めての自社開発製品となる半導体応用電力調整器「バラコン」を開発し、販売を開始
- 昭和44年11月 制御回路を無接点化した論理素子および発光ダイオードを応用した光電スイッチ「マジックアイ」を業界に先駆け開発し、販売を開始
- 昭和45年 1月 商号を東洋電機株式会社に変更
- 昭和49年 9月 マイクロプロセッサを搭載したマイクロコンピュータを開発し、販売を開始
- 昭和56年12月 自社開発製品「トロイダル変圧器」を開発し、販売を開始
- 平成元年 2月 愛知県春日井市の春日井工業団地に神屋工場を建設
- 平成3年10月 東洋機械(株)・東洋電子(株)・東洋変圧器(株)・東洋電設(株)を吸収合併
- 平成9年 1月 名古屋証券取引所市場第二部(現：名証メイン市場)に上場
- 平成10年 3月 変圧器事業部が乾式絶縁変圧器に対して欧州安全規格「EN60742」を取得
- 平成10年 4月 全事業部がISO9001認証を取得
- 平成11年 4月 エンジニアリング事業部が社団法人 配電盤工業会の優良工場認定を取得
- 平成14年 4月 ティーエムシー(株)、東洋電機ファシリティーサービス(株)を分社設立
- 平成16年 7月 当社、ティーエムシー(株)、東洋電機ファシリティーサービス(株)の全工場において、環境マネジメント「ISO14001」認証を取得
- 平成16年10月 中華人民共和国南京市に子会社「南京華洋電気有限公司」を設立
- 平成18年 1月 「愛知ブランド企業」認定を取得
- 平成24年 2月 ティーエムシー(株)の板金部門を分社し東洋板金製造(株)を設立
- 平成25年 2月 タイ王国バンコク都にThai Toyo Electric Co.,Ltd.を設立
- 平成26年 8月 新春日井工場竣工(本社事務所移転)
- 平成29年12月 「地域未来牽引企業」に選定される
- 令和6年 4月 東洋電機ファシリティーサービス(株)および東洋板金製造(株)を東洋電機(株)が吸収合併
- 令和6年 8月 アドヴァンコーティング(株)が企業グループに加入



春日井工場全景



売上高の推移



1. 国内制御装置関連事業

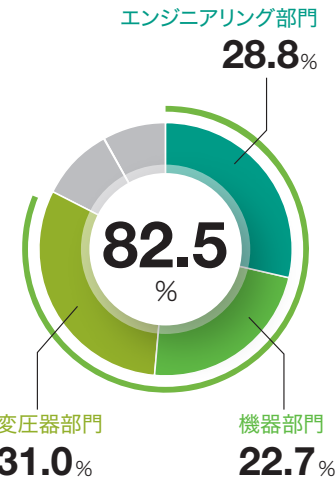
売上高

7,713 百万円

前年同期比 6.4%増

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開をしており、監視制御装置、配電盤、変圧器、センサ、ソリューション向け装置および表示器の製造・販売を行っております。当事業を構成するエンジニアリング部門、変圧器部門は増収、機器部門においては減収となり、売上高は7,713百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

□構成比



エンジニアリング部門

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、搬送制御装置分野、監視制御装置分野、配電盤の分野における大型案件の売上増により、2,691百万円(前年同期比38.5%増)となりました。

□主要製品

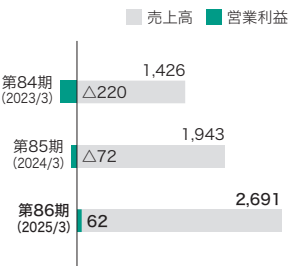
- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー(IPR)
- 宛名紙印刷搭載機



宛名紙印刷搭載機

売上高 2,691 百万円 前年同期比 38.5%増

□売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



機器部門

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、センサ分野における価格競争の激化と市場ニーズの変化などにより、2,121百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

□主要製品

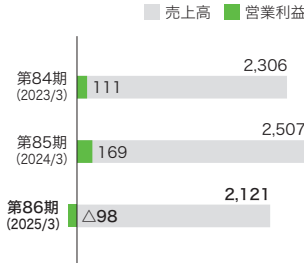
- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器



空間光伝送装置

売上高 2,121 百万円 前年同期比 15.4%減

□売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



変圧器部門

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、データセンター向けや再生可能エネルギー関連の設備投資が堅調に推移したことにより、2,900百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

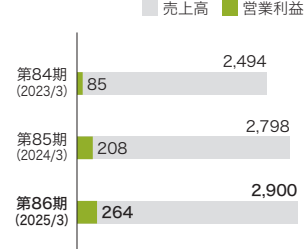
□主要製品

- 乾式変圧器
- モールド変圧器
- 耐雷変圧器
- 始動リアクトル



売上高 2,900 百万円 前年同期比 3.7%増

□売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



2. 海外制御装置関連事業

売上高

897 百万円

前年同期比 2.4%減

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向けの盤関連製品の製造販売や中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。当事業は、中国経済の低迷に影響を受けた南京華洋電気有限公司が売上高と利益面を押し下げ、897百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

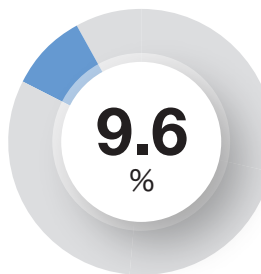
□主要製品

- 盤関連製品
（南京華洋電気有限公司のみ）
 - ・ 高圧受配電盤
 - ・ コントロールセンタ
 - ・ PLC応用制御盤

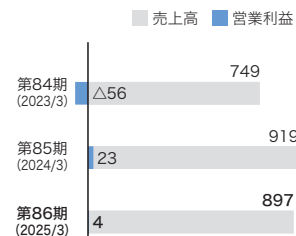


C型コントロールセンタ

□構成比



□売上高・営業利益推移（単位：百万円）



※在外子会社における不動産収入については、2024年3月期は35百万円、2025年3月期は72百万円を海外制御装置関連事業に含めております。

- エレベータ関連製品
（南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co., Ltd.）
 - ・ マルチビームセンサ
 - ・ かご位置確認用センサ

エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

3. 樹脂関連事業

売上高

736 百万円

前年同期比 11.6%増

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が開業している樹脂リサイクル事業です。当事業は、事務機器関連向け製品の受注が好調であったことにより、736百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

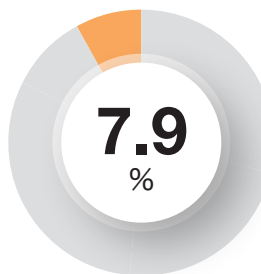
□主要製品

- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産

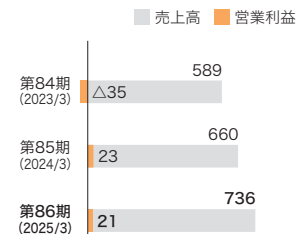


樹脂ペレット

□構成比

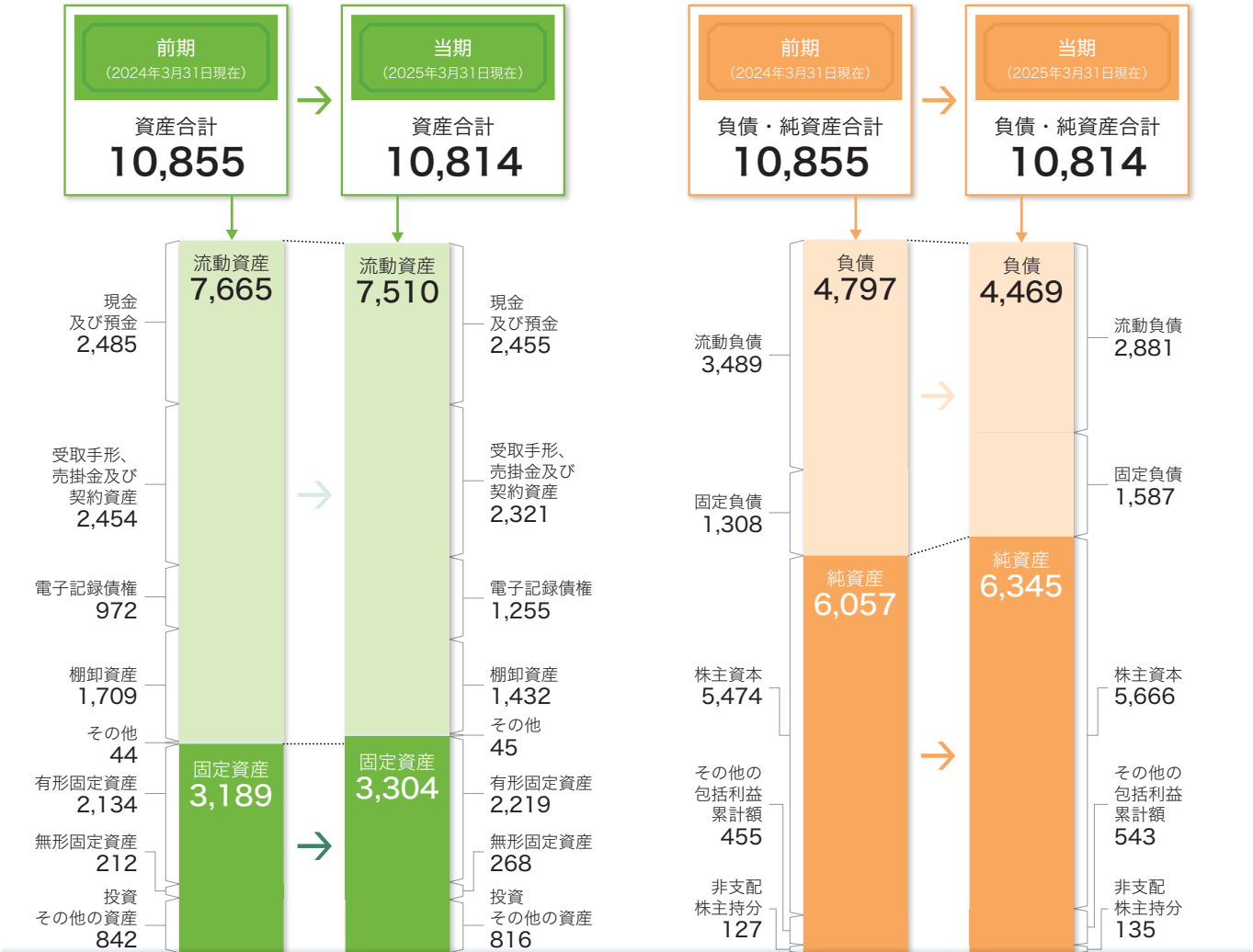


□売上高・営業利益推移（単位：百万円）



連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

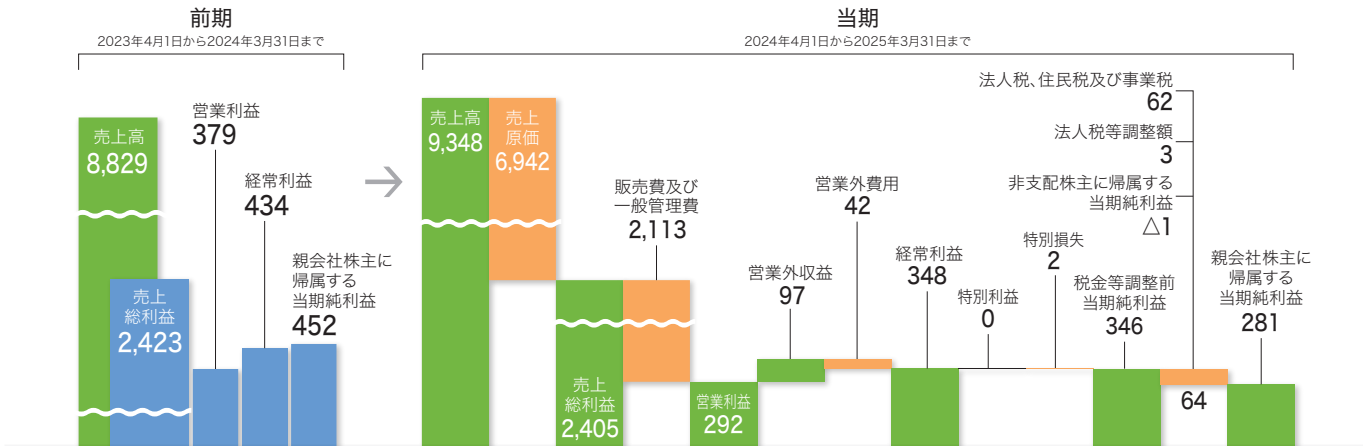


POINT

資産は受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産の減少などにより前期末比40百万円減少し、負債は支払手形及び買掛金、電子記録債務の減少などにより前期末比328万円減少しました。純資産は利益剰余金や為替換算調整勘定の増加などにより前期末比288万円増加しました。

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

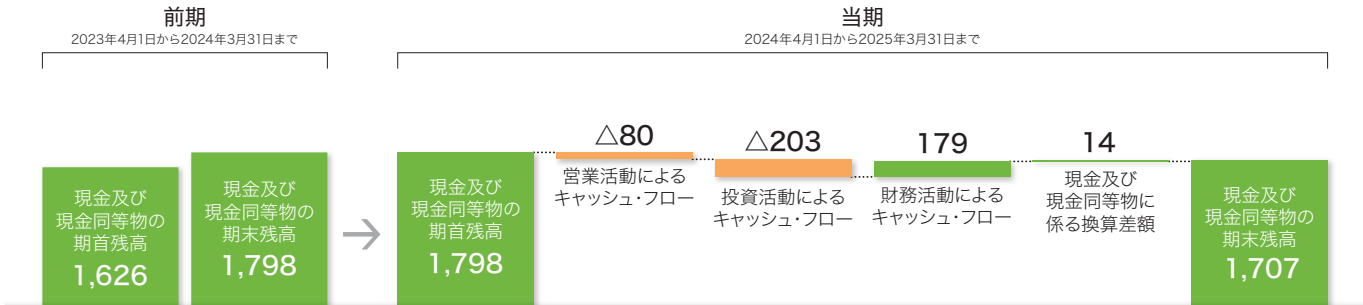


POINT

当期は、国内制御装置関連事業、樹脂関連事業は増収となり、海外制御装置関連事業においては減収となりました。当社グループ全体の利益面では、原価率の抑制に努めたものの、固定費の増加等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



POINT

当期における現金及び現金同等物は、前期末比90百万円減少し、1,707百万円となりました。営業活動の結果使用した資金は、仕入債務の減少による支出などにより80百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより203百万円となりました。財務活動の結果得られた資金は、長期借入金による収入、長期借入金の返済や配当金の支払による支出などにより179百万円となりました。

“次工程はお客様” と思って 筐体設計に携わる

エンジニアリング事業部
管理部板金課 係長

お お く ぼ た か ひ ろ

大久保 貴広



仕上がりを想定して図面を引く

東洋電機のMCC（モータコントロールセンタ）、制御盤、配電盤などの装置は、キャビネットや筐体（きょうたい）と呼ばれる金属の箱で保護されます。東洋電機の子会社であった東洋板金製造(株)に8年前に入社した大久保さんは、この筐体の製造にずっと携わってきました。

筐体は、板金図をもとに材料や金型、曲げの加工限界などを考慮して展開図を作成、金属板から展開図を抜き出すための加工データを作成・出力することで加工されます。ところで板金加工では、金属を曲げたり、引っ張ったりすることで金属の寸法にも微妙な変化が生じます。筐体の製造では、そうした加工時に生じる微妙なひずみをも考慮しながら、図面を起こすという難しさがあるのです。

お客様を思い、次の工程にバトンをつなぐ

昨年4月、東洋板金製造(株)は東洋電機本体と合併し、大久保さんも業務で関わりのあったエンジニアリング事業部の所属になりました。仕事が大きく変わったわけではありませんが、親会社と子会社の関係から、同じ屋根の下で働く同僚の関係になりました。「全体の工程に対する責任感は強くなりましたね」と大久保さんが語ります。

ただ、組織が大きくなったため、資材購入時の発注は購買部署に頼らざる

を得ず、手続きが煩雑になって時間も掛かるようになりました。製品の多くが短納期の納品を求められるケースが多いだけに少し気になっています。そんな大久保さんがいま心掛けているのは、“次工程はお客様”という言葉。大久保さんの設計で生まれた金属パーツは、曲げ加工されて溶接し、塗装やめっきなどの表面処理をして、次の組立工程に流れるだけに、社内の仲間をお客様だと思い、丁寧な仕事を心がけています。

天下人になれなかった武将たちの夢に共感

自称、歴史大好き人間。休日には歴史を訪ねる旅に出かけます。そんな大久保さんが大好きな武将の一人が松永久秀（まつながひさひで）。仕えた主人を殺し、天下の将軍を暗殺し、東大寺の大仏殿を焼き尽くすという悪行で知られた戦国乱世の武将です。最近の研究では「民を思い、民を信じ、正義を貫こうとした」武将だったとの説もあり、人気の作家今村翔吾さんの小説『じんかん』を読んで一気に好きになりました。

奈良大和には松永久秀が築城した山城がいくつか点在します。先日は、大和の城巡りと合わせて南北朝時代の武将楠木正成（くすのきまさしげ）が立てこもって幕府軍に抵抗した千早城（大阪府南河内郡）にも足を延ばしました。

天下人となった英雄よりも、不条理にあらがいながら歴史の表舞台から消えていかざるを得なかった人物に強い共感を覚えるのです。

会社の概況			(2025年3月31日現在)
商号	東洋電機株式会社		
設立	1947年(昭和22年)7月		
資本金	10億3,708万円		
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156		
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39		
神屋第二工場	〒480-0304 愛知県春日井市神屋町字熊野上1139-53		
味美工場	〒486-0968 愛知県春日井市味美町1-8		
営業所	東京、名古屋、大阪		
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)		
	アドヴァンコーティング株式会社(愛知県豊明市)		
	南京華洋電気有限公司(中華人民共和国江蘇省南京市)		
	Thai Toyo Electric Co., Ltd.(タイ王国チョンブリー県)		
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、名古屋銀行、三井住友銀行		
従業員数	個別:208名 連結:382名		

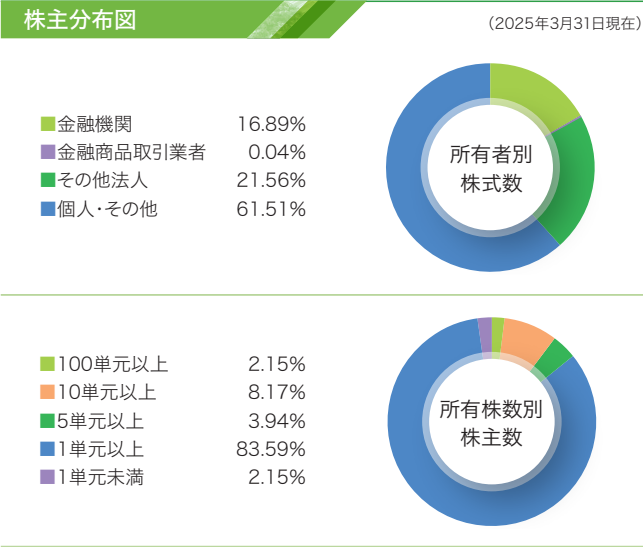
役員			(2025年6月20日現在)
代表取締役 社長執行役員	松尾昇光		
取締役 常務執行役員	井澤宏		
取締役 常務執行役員	加賀美孝		
取締役(監査等委員)	菅幸彦		
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩		
取締役(監査等委員)	井上誠		

(注)取締役 葛谷昌浩氏および井上誠氏は、社外取締役であります。

株式の概況		(2025年3月31日現在)
発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)	
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式488,843株を含む)	
株主数	2,889名	

大株主			(2025年3月31日現在)
株主名	持株数	持株比率	
有限会社城西	430千株	10.23%	
東洋電機取引先持株会	345千株	8.20%	
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.52%	
株式会社百五銀行	192千株	4.56%	
東洋電機従業員持株会	177千株	4.23%	
松尾隆徳	173千株	4.11%	
松尾昇光	156千株	3.72%	
日本生命保険相互会社	125千株	2.97%	
三浦陽子	111千株	2.65%	
第一生命保険株式会社	87千株	2.08%	

(注)持株比率については、自己株式(488,843株)を控除して算出しております。



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 メイン市場(コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	https://www.toyo-elec.co.jp/

ご 注 意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<https://www.toyo-elec.co.jp/>

東洋電機 検索



お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096